

日吉台地下壕保存の会 会報

第5号

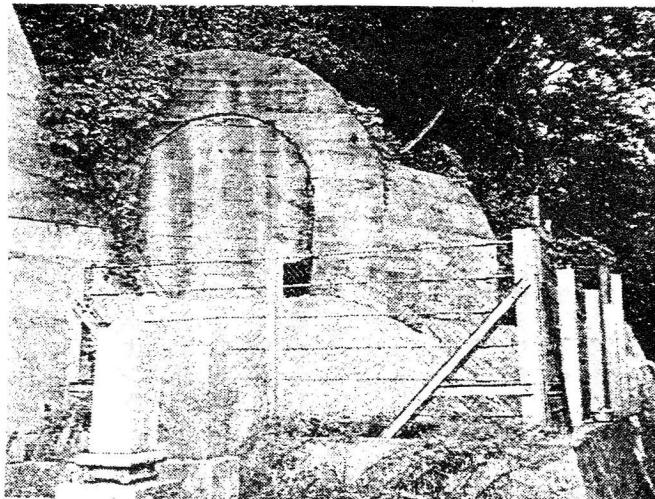
発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

〒223

横浜市港北区下田町3-15-27

TEL 044-62-1282 (寺田貞治方)



Y字型の地下壕の入口
(入口は現在塞がれている)

目 次

◎ 再び総会を迎えるに当たって	1
◎ 第8回幹事会報告	2
◎ 第2回運営委員会報告	3
◎ 会費納入のお願い	3
◎ 地下壕見学の感想	4
◎ 第2回総会のお知らせ	6
◎ 編集後記	6

再び総会を迎えるに
当たって

会長 永戸 多喜雄

日吉台の旧連合艦隊地下壕の保存に、それ
ぞの立場から意義を認めめた市民と慶應義塾
教職員有志 さらに太平洋戦争末期に地下壕
に直接係わりを持った人々が、一同に会して
保存会を結成してから早くも一年が経過し、
近く第二回総会を迎えることになった。

その間、当初約束された会報の発行は順調
に進み、地下壕見学会も回数を重ね、自治体
との協力の下にプロジェクト・チームの作業
も着実に進展し、相次ぐ聞き取り調査によつ
て、從来は霞に包まれていた多くの事柄が、
はつきりした姿を現し始めている。地下壕の
難工事に投入された朝鮮の人々の労働力の問
題などは、とりわけ重要な事柄の一つである。
但し、この問題に関しては、未だ有力な
資料に乏しく、引き続き精力的な調査が必要で
あると考えられる。

当面の経済活動に没頭する余り、世界を包
み込もうとしている巨大な変革のうねりさえ
他所事のようにしか受け取られていないかに
見える今日の日本で、日吉台地下壕の保存と
いう地味な目標を掲げているこの会の存在は、
かけがえのない光源のようなものではないだ
ろうか。地下壕は好奇心の対象でも、単なる
戦争の遺物でもなく、君達は何をしているの
だと絶えず問いかけてくる、歴史の証人に他
ならないからである。

1月17日に日吉本町の館
辰で開かれた。

○報告事項

事務局長より

①会員数＝239名（1月
16日現在），団体会員＝1
組，賛助会員＝4名，②会計
収入＝316660円，支出
＝128421円，残高＝
188239円，③11月
28と29日：港北区役所の
職員が、松代の地下壕を見学。
④11月29日：TV神奈川
が取材。⑤12月2日：日吉
台西中学校PTA・OB（森
戸会）が地下壕を見学。30
数名参加。⑥12月2日：地下
壕のビデオを撮る。⑦12
月2日：地下壕見学会に特別
参加された元連合艦隊司令部
幕僚付從兵であった根本和男
氏より、保存会へ1万円のカ
ンパがあった。⑧12月8日
：TV神奈川の「TVグラフ
ック42番街」で、午後8
時5分から15分間放映。⑨

12月9日：日吉地区センタ

ーで開かれた日吉地区会議で、
区長宛の要望事項の「日吉地
下壕の保存について」討議さ
れ、全員一致で地下壕の保存
と、資料館の建設を進めて行

くことを確認した。⑩12月
18日：会報第4号発行。⑪
12月21日：区役所のプロ
ジェクトの打ち合せをした。

3月までに日吉台地下壕保存
の基本構想報告書を作成する。
⑫1月1日：松代新聞に、特
集記事として「日吉台地下壕」
の記事が掲載された。⑬1月
13日：日吉台小学校の教職
員が、地下壕について学習し
たのち、地下壕を見学した。

12名参加。この時保存会に
5000円カンパを頂いた。

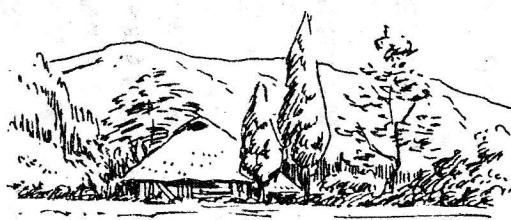
⑭日吉商店街情報誌「日吉」
(10月発刊)のN.1に
「昭和の激動の嵐が通りすぎ
て行つた日吉」というタイト
ルで、地下壕に関する記事が
掲載された。

幹事より

保存することは両刃の剣な
ので保存の意義をしつかり掴
んでおくことが必要。平和を
考える史跡として保存する方
向で運動を進める。

○議事

①当面の具体的活動計画に
ついて：3月ごろ公開ヒヤリ
ングを行う。国会図書館の資
料を調べる。②第4号の会報
について：手作りなので、あ
れ以上よくするのは無理であ
る。③第5号の会報の発行に
ついて：3月中旬までに発行
する。総会の連絡も同時にす
る。④総会について：4月7
日(土)午後3時より(予定)
⑤次回運営委員会(3月2日)
午後5時



地下壕日記学校の感想

横浜市教職員組合
日吉台小学校分会
日吉台小学校では、組合の教育活動の一環として平和教育を取り上げて二年目になります。この組合の教育活動には、年二回、十月と二月に支部単位での報告集会が持たれます。ですが、本分会でも十月の報告集会で、つたない実践報告をしました。その時に、中川中学校の先生が、大聖院の防空壕に入った感想を話されました。私たちの学区にある防空壕に他の学校の先生が入ってみられたということで、少々驚きましたが、驚きはそこに留まらず「日吉台地下壕保存の会」があるという意外な事実を知ることになりました。

分会内では、地下壕の存在を知っている人、転任して日が浅いために全く知らない人、様々でしたが、地下壕の中は「ジープが走れるほど大きいんだって」ということは知つても、実際に入ってみたという人は一人もいませんでした。そういう中で、三年の社会科で地域の事を学習されるんだから、見学できるのなら見学してみたいという声があがり、日吉台中学校の神谷先生に教えて頂いた保存の会の事務局長さんにお世話になりました。事務局長の寺田先生は、新年早々の忙しい中、一月一三日の土曜の午後、本校まで足を運んで下さいました。たくさんのお話をもとに、一時間余にわたる講義をして下さりました。それからみんなでワイワイと地下壕の見学に出かけました。

私たちの分会では、この見学の二週間後に国語の平和教育教材を主とする父母懇談会を開催して、それを私たちは嬉しく思っていました。しかし、何よりも、私たち地元の学習が深められ、教師として子ども達に語りかけられる多くのものをえたことを感謝しています。本当にお世話になりました。

以下は、私たちの地下壕見学の感想です。

*学校のすぐ近くにあんな大規模な地下壕があるとは驚きです。歴史教材としても充分使えると思うし、児童には難しければ教師と親で話題に出来ると思います。地域の問題と言うことで保存に協力し会えるのではないでしょか。

*日吉台にきて三年目になるのに学区の歴史については何も知らなかつた。慶應のキャンパスの中に大きな地下壕があることを知つて驚き、一度見学したいと思っていました。話しかけてなく、まさに百聞は一見にしかずでした。

寺田先生の親切な説明で、地下壕のことがとてもよくわかつた。海軍がキャンパスを使用することにより、学生の追われる日々があつたこと、また、この日吉台小の子ども達も海軍の賞罰に関する部（功績調査部）が入ることにより追われて近くの寺へ集団疎開させられたことを知つた。子どもが主人公であるはずの学校が奪われて入った。何ということか。寺田先生のおつしやつた平和について考える平和資料館が建つたらどんなに素晴らしいだろう。

*親切で詳しい説明をして頂いたので、とてもよくわかりました。日吉台小につとめて六年になりますが、地下壕の存在さえ知りませんでしたので、大変興味深く見ました。とにかく驚きました。歴史の遺産としておとなの方で残しておおく価値があると思います。地域の戦争の歴史を残すことには、逆に平和を考えようとする大事な材料になるのではな
 いでしょうか。

*日吉に地下壕があることだけ、まず驚きましたが、お話を地図だけでは、余りその大きさを実感していませんでした。自分が入ってみて、初めてその広さと内部の機能がわかり、当時の軍の力とそれを支えていた一般の人々や朝鮮の人々のことが、少し理解できたように思います。本当に貴重な体験をさせて頂きま
 した。



*大変よい体験をさせて頂いたと思います。まだまだ気付かないところに、歴史を伝えられる重要な資料があるような気さえして興味を持ちました。見学前にお話を聞いてよかつたと思います。想像していたよりも大規模でびっくりする同時に、この地下壕を掘るために強制労働させられた人たちの当時の様子を思い浮かべると胸が痛む思いでした。

*長靴の用意がなかったために、下が乾いた場所だけ見学し、その後入口で待つてました。入口で待っているとき、地下壕の中から見学の方々の声が少しも聞こえず、吸い込まれるような静寂から、地下壕の奥行きの深さを感じました。こんなにじめつとした暗い地下壕で人間が過ごすとい
 うことができたように思いました。

*地下壕のトンネルは、まるで四十年以上もの昔に続くタ
 イムトンネルでした。少し力
 で臭い空気の中にいると、そ
 の昔、その地下壕で寝ていた
 人の吐息や歩く足音が聞こえ
 てきそうで、確かにそこに歴
 史があつたという実感がわい
 てきました。でも二度とあの
 ような所で生活する日が来な
 いようにと思いました。

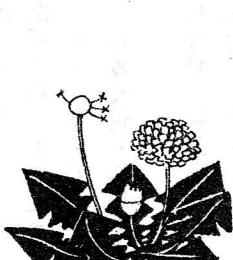
*現在、見学して何かタイム
 スリップしたような気がしま
 した。当時の人々が真剣にな
 かつたこと、この地下壕を作
 るため多くの苦しい思いをし
 た人がいたことなど、考える
 と、戦争とは人間らしくいき
 る喜びを剥奪するものだと恐
 くなりました。当時、それほど

*すぐ身近なところに地下壕
 があることを初めて知り、そ
 んで、今の子ども達を戦場に
 して自分の目で確かめること
 ができる、大変よい勉強になつ
 た。こんなにも長くて頑丈な
 地下壕を短期間に作り上げた
 エネルギー……戦争のため
 に、信じられない作業をやつ
 たり、させたりする凄さに恐
 怖を感じた。

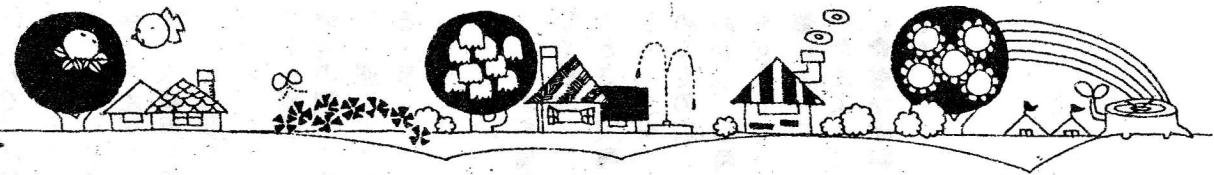
*寺田先生の説明が大変くわ
 しくよくわかった。説明の後の
 見学だったので、興味深かつ
 た。貴重な体験だった。



*すぐ身近なところに地下壕
 があることを初めて知り、そ
 んで、今の子ども達を戦場に
 して自分の目で確かめること
 ができる、大変よい勉強になつ
 た。こんなにも長くて頑丈な
 地下壕を短期間に作り上げた
 エネルギー……戦争のため
 に、信じられない作業をやつ
 たり、させたりする凄さに恐
 怖を感じた。



「やの知らせ」



第一回

総会

- 日時 4月7日 (土)
- 午後3時より
(受付は午後2時50分より)
- 会場
 - 区役所
 - 慶應大学藤山記念館
 - 大会議室
- 総会の進め方
- 「戦ふ小国民」の上映など
- 開会の辞
- 会長挨拶
- 議事
 - ①議長選出
 - ②1989年度活動報告
 - ③1989年度会計報告
 - ④1989年会計監査報告
 - ⑤②③④の報告について
 - 質疑応答および承認

⑥規約の1部改正について
提案の説明と質疑応答並
びに承認

⑦1990年度運営委員・
会計監査の選出と承認

⑨1990年度活動方針案

説明

⑩1990年度予算案説明
⑪⑨⑩の案について

質疑応答および承認

⑫議長解任

五 その他

六 閉会の辞

○やの願い

総会には、多数の方々のご
参加をお願い致します。

映画「戦う少国民」は戦時
中の小学校の教育がどのよう
なものであったか、余す所な
く描かれています。是非お見
落としのない様お願い致しま
す。

編集後記

○会結成から1年が経とうと
しています。夢中で、手探し
で、とにかく切り抜けてしま
った。

○それなりに私達の活動の成
果はあったのではないでしょ
うか。

○新聞・テレビ・見学会を通
じて、この1年間かなりPR
されたのではないでしょうか。

○日吉台小学校や中学校では、
地域の歴史教育または平和教
育の一貫として、地下壕を考
えようとの動きが出ています。

○見学会の感想文も順調に寄
せて頂き、事務局としては大
助かりでした。ご協力有難う
ございました。

○区役所のプロジェクトチ
ームでは、8月ごろまでに保存
に向けての基礎資料を市に提
出する予定です。(第4号の
記事で3月までに提出ある
のは訂正させて頂きます)

○4月7日の総会は、是非成
功させたいと思います。多く
の方のご参加をお待ちしてい
ます。